

## 文化交流館／新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう（夜間返却窓口もご利用ください）。

明けましておめでとうございます。お子さんの冬休みに、ご家族みんなで読んで楽しめる所蔵本やDVDビデオの所蔵映画を豪華6本立てでご紹介します。たまにはご家族でゆっくりと楽しんでください。

### お知らせ

年末・年始は12月31日から1月5日まで休館です。その間の返却は玄関横の返却ポストをご利用ください。本年もたくさんのご来館をお待ちしています。

### ホテルジュシー(一般書)

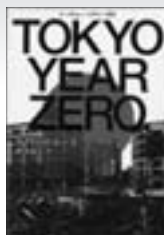
著：坂木司/刊：角川書店



大家族の長女に生まれた天下無敵のしっかり者ヒロちゃん。ところがアルバイトにやってきた那覇のボロ宿で、頼りにしていた先輩に置き去りにされたうえ、あやしげな同僚たちやワケありのお客たちに平穏な日常を掻(か)き乱されて…。南国気分にはれるミステリー小説。

### TOKYO YEAR ZERO(一般書)

著：デイヴィッド・ピース/刊：文藝春秋



1945年8月15日、東京の軍需工場で女性の腐乱死体が発見された。そして1年後に発見される第二、第三の死体…。敗戦を機に解き放たれた殺人鬼は何者なのか？実在の連続殺人事件をモチーフに、現代イギリス文学作家が描く日本の「占領」とその闇。戦慄(りつ)の(東京三部作)開幕！

### チームふたり(児童書)

著：吉野万理子/刊：学研



東小卓球部のキャプテン大地は、小学校最後の試合で最強のダブルスを組みたかったのに、5年生の純と組むことになり、がっかり。納得のいかない大地だったが、それどころではない「事件」が学校でも家でも起こってしまう。大地はそれらをどう乗り越えていくのか…。

### おせちのおしょうがつ(絵本)

作：ねぎしいいこ/絵：吉田朋子/刊：世界文化社



おせち料理が、みんなで鏡餅の家に行くことになりました。「ぼくは、数の子。おめでたい食べ物なのさ。子どもの数がたくさんになるようになっていう意味があるんだ。」お正月になぜ、おせち料理を食べるのか？おせち料理の由来を知って、新しい年も元気にすごしましょう！

### どろろ(映画・DVD)

ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン



武士の醍醐景光は、天下取りの代償に、自分の子を生贖(いけにえ)として48体の魔神に差し出す。その結果赤ん坊は体の48箇所欠損した体で生まれ、化け物として川に流された。医者に拾われた赤ん坊は14年後、百鬼丸と名乗り自分の体を取り戻す旅に出る。途中、こそどろの「どろろ」と出会い…。(138分)

### シャーロットのおくりもの(映画・DVD)

パラマウント ホーム エンタテインメント ジャパン



心優しい娘ファーンに育てられている子豚のウィルバーは、ある日「自分の運命」を知って身を震わせる。ウィルバーを母親のような愛情で励ますクモのシャーロットは、ウィルバーを助けるため、クモの巣にメッセージを浮かび上げらせてみた。やがて「奇跡のおくりもの」が…。(97分)

『Dr. 中田の健康生き生き』は休載します。中田先生の「健康生き生き」コーナーは、来月から成人病予防の新シリーズがスタートする予定です。

だいせつざんのすがお

## 大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

### 「かまくら」

雪国の人ならば、たいていの人がかまくらを作った経験を持っているでしょう。

私たちも、毎年大きなかまくらを作っています。本来の目的は、年末年始に雪の結晶の研究や撮影に来られるお客様のためのもので、隣のロッジ・ヌタブカウシュッペのご主人、春菜秀則さんといっしょに作っています。10日間ほどかけて3~4メートルの雪山を積み上げ、2~3日かけて雪山に穴を掘ります。

雪を積み上げている間に雪山の外側の壁はどんどん固まってくるので、スコップで穴を掘っていくのはひと苦労です。年によって大きさは異なりますが、それでもどうにかこうにか、5~8人が入る穴を掘ります。雪の研究や撮影に来る方々は、たくさんの機材を持ってくるので、このくらいの広さが必要なのです。

雪の結晶の撮影は、こうして出来上がったかまくらの中で行われます。

当然のことながら、暖かい場所では結晶が溶けてしまうため、このようなかまくらの中でないと結晶の写真が撮れないのです。

時々顕微鏡で見せていただく雪の結晶は、すばらしく美しいものですが、極地探検隊のような格好で、時には徹夜で条件の良い結晶が降ってくるのを待っている姿を見ると、こういう方々の苦労も並大抵ではないようです。

年が明け、雪の撮影の目的が終わっても、これだけ大きなかまくらはそう簡単には壊れません。天井がある程度下がってくると、危ないので入り口を埋めてしまいますが、それまでひと月やふた月はかまくらとして十分楽しめます。その間、家族連れのお客様の遊び場にしたり、雪の結晶のレプリカ作り(ある種の薬品で結晶の形をガラス板の上に残す方法)、または寝袋を持ち込んで雪洞キャンプをするなど、いろいろ雪と楽しむことができます。

さて、楽しみの極めつけは、かまくら鍋です。寒いかまくらの中で鍋をするのですから、湯気が立って、もうほとんど何も見えません。闇鍋状態ですが、冷たい雪の穴の中で、鍋とお酒で体を温めるのは最高の気分です。

文：大雪白樺荘支配人 神林 知宏